

科目ナンバー	PSY-2-017-j			科目名	教育相談論(中等)		
教員名	勝又 結菜			開講年度学期	2020年度 後期	単位数	2
概要	教育相談とは、生徒の適応的な集団生活や、個性の伸長、人格の成長を支援する教育活動である。生徒が自分らしさを発揮し成長することを支援する教育相談の理念や支援アプローチは、いじめや不登校といった問題状況への対処のみならず、日々の学校生活の中で行う生徒や保護者への対応においても重要な役割を持ち、教師全員が教育相談の基礎的な知識と技法を身につけることが求められる。本講義では、中学・高校における教育相談の位置付けと、今日の学校場面において直面しうる様々な心理社会的問題、及び問題対処に必要な基礎的知識・技法(思春期・青年期の課題、カウンセリングの基礎的手法、校内外連携)について、事例検討や実践を交え学んでいく。						
到達目標	教育相談について、中学・高校における教育相談の位置付け及び体制と、学校場面で起こりうる様々な心理社会的問題に関する基礎的知識を理解する。また、生徒の不応適や問題行動の背景となる思春期・青年期に抱えやすい課題を知り、問題対処に必要なカウンセリングの基礎的手法や、校内外連携等に関する知識を習得する。						
「共愛12の力」との対応							
識見		自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識	○	自己を理解する力	○	伝え合う力	○	分析し、思考する力	○
共生のための態度	○	自己を抑制する力	○	協働する力	○	構想し、実行する力	
グローバル・マインド		主体性		関係を構築する力	○	実践的スキル	○
教授法及び課題のフィードバック方法	資料やビデオ教材を用い、知識を身につけるとともに、実際の学校現場での対策に能動的に理解を深めていくためのグループディスカッションなどを用いて授業を行っていきます。また、カウンセリング等におけるやり取りの技法について、ロールプレイなどの実践を行います。そのため、受講者には座学だけでなくディスカッションやワークに積極的に参加する、能動的な姿勢を求めます。						
アクティブラーニング		○	サービスマーケティング			課題解決型学修	
受講条件 前提科目	特になし。						
アセスメントポリシー及び評価方法	授業への参加度と授業後の小レポート(40%)、最終レポート(60%)により評価を行います。						
教材	授業中に適宜資料を配布する。						
参考図書	教育臨床論:教師をめざす人のために(伊藤直樹編、批評社) よくわかる教育相談(春日井敏之・伊藤美奈子編、ミネルヴァ書房)						
内容・スケジュール							
1週目							
授業学修内容	オリエンテーション:教育相談はなぜ必要か(シラバス授業) 授業概要やスケジュールの説明を行う。また、教育相談という言葉が指すものについて問いを提起する。						
授業外学修内容	授業のレジュメを用いて、キーワードの理解を中心に、授業の内容について復習する。					時間数	1
2週目							
授業学修内容	教育相談概論:教育相談の位置付けと体制 教育相談の学校内での位置付けと、校務分掌など、教育相談の基本的な枠組を学ぶ。						
授業外学修内容	授業のレジュメを用いて、キーワードの理解を中心に、授業の内容について復習する。					時間数	1
3週目							
授業学修内容	日常的な教育相談:生徒が相談しやすくなる環境づくり 学校教育相談の基本である日常的な教育相談について、担任として相談してもらいやすくするための工夫を考える。						
授業外学修内容	授業のレジュメを用いて、キーワードの理解を中心に、授業の内容について復習する。					時間数	1
4週目							
授業学修内容	カウンセリング基礎 ロジャーズの理論に沿って、カウンセリングの基礎的な考え方を学ぶ。また、ペアで簡単なロールプレイ						

	を行い、カウンセリングに慣れ親しむ。		
授業外学修内容	授業のレジュメを用いて、キーワードの理解を中心に、授業の内容について復習する。また、日常でカウンセリングの態度を用いることのできる場面を見つける。	時間数	3
5週目			
授業学修内容	カウンセリング技法 カウンセリングの基礎的な技法を学ぶ。また、ペアでロールプレイを行い、実際に話を聞く技法を身につける。		
授業外学修内容	授業のレジュメを用いて、キーワードの理解を中心に、授業の内容について復習する。また、自分が話してもいいと思う簡単な悩みについて考えてくる。	時間数	2
6週目			
授業学修内容	カウンセリング実践 カウンセリングのロールプレイをグループで行う。また、カウンセリングマインドの活用場面を検討する。		
授業外学修内容	授業のロールプレイで思ったことや感じたことを復習し、自分自身のカウンセリングの態度と技法を再検討する。	時間数	2
7週目			
授業学修内容	思春期・青年期の発達 思春期・青年期の発達について、身体面、心理面、社会面それぞれに分けて学ぶ。		
授業外学修内容	授業のレジュメを用いて、キーワードの理解を中心に、授業の内容について復習する。	時間数	1
8週目			
授業学修内容	思春期・青年期の孤独の理解 思春期・青年期に感じやすい孤独の内容とその影響を学ぶ。また、事例を通し、背景にある孤独の問題について分析する。		
授業外学修内容	授業のレジュメを用いて、キーワードの理解を中心に、授業の内容について復習する。また、発達障害の生徒に適切な支援がなされないとどのようなことが起きうるか考えてくる。	時間数	1
9週目			
授業学修内容	特別支援教育概論 特別支援の対象となる神経発達障害群について、障害の知識と抱えやすい困難を学ぶ。		
授業外学修内容	授業のレジュメを用いて、キーワードの理解を中心に、授業の内容について復習する。	時間数	1
10週目			
授業学修内容	思春期・青年期の精神障害 思春期・青年期にかかりやすい精神障害について、障害の知識と抱えやすい困難を学ぶ。		
授業外学修内容	授業のレジュメを用いて、キーワードの理解を中心に、授業の内容について復習する。	時間数	1
11週目			
授業学修内容	校内外連携 校内外連携について、連携を取りうる関係機関を知る。また、事例をもとに、支援の在り方と関連法律について学ぶ。		
授業外学修内容	授業のレジュメを用いて、キーワードの理解を中心に、授業の内容について復習する。	時間数	1
12週目			
授業学修内容	「問題」への見方を変える 「問題」とみなす・みなされることによって生じる危険や悪循環について考える。また、問題が生じた際の複数のアプローチを学ぶ。		
授業外学修内容	授業のレジュメを用いて、キーワードの理解を中心に、授業の内容について復習する。	時間数	1
13週目			
授業学修内容	いじめの理解と支援 いじめの支援について、対策委員会の設置や初期対応、校内連携などを学びつつ、教師としてどう対応すべきか考える。		
授業外学修内	授業のレジュメを用いて、キーワードの理解を中心に、授業の内容について復		

容	習する。	時間数	1
14週目			
授業学修内容	不登校の理解と支援 不登校の事例を用いながら、不登校への支援について、連携や地域資源活用など様々な可能性を考える。		
授業外学修内容	授業のレジュメを用いて、キーワードの理解を中心に、授業の内容について復習する。	時間数	1
15週目			
授業学修内容	まとめ:改めて教育相談とは 本講義の内容について、ペアワークとグループディスカッションを通して振り返りを行う。		
授業外学修内容	グループディスカッションの内容をもとに、最終レポートを作成し、提出する。	時間数	4
上記の授業外学修時間の合計		22	
その他に必要な自習時間		68	

Number	PSY-2-017-j	Subject	Educational Counsultation(Secondary)		
Name	勝又 結菜 (Katsumata Yuina)	Year and Semester	S Second semester for 2020	Credits	2
Course outline	Educational consultation is the activities supporting student's collective action and personal growth. There is a need for all teachers to acquire the ideas and the approaches of educational consultation, because of the important rolls for supports of students and parents in school life. This course introduces the placement of educational consultation, the problems of puberty, and the skills of counseling, through group discussion.				